

# 図書館だより

vol.14

冬

2020.1 市立米沢図書館

伝国の杜・ナセBA 連携企画  
青少年・こどもの「まなび」応援  
図書館利用者カード割引

小～大学生の方は、市立米沢図書館の利用者カードを米沢市上杉博物館で提示すると、常設展・企画展とも入館料が割引になります(団体割引適用)。

展覧会情報は、米沢市上杉博物館のホームページをご覧ください。  
http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp



◆開館時間  
[平日]  
4月～9月 10:00～20:00  
10月～3月 10:00～19:00  
[土・日・祝日] 9:00～19:00

◆休館日  
毎月第4木曜日  
(祝日に当たる時は、次の平日が休館)  
年末年始(12月29日～1月3日)  
蔵書点検期間

◆貸出数・貸出期間  
図書・雑誌 10点まで 14日間  
DVD・CD 3点まで 7日間

〒992-0045  
山形県米沢市中央1丁目10番6号  
(ナセBA 2階)  
TEL: 0238-26-3010  
FAX: 0238-26-3012  
Mail: tosyokan@library.yonezawa.yamagata.jp  
URL: http://www.library.yonezawa.yamagata.jp/



## カレンダーマークのご案内

おはなしかい

ブックスタート

先人顕彰コーナー

「写真で見る米沢のむかし展」  
part2: 上杉神社周辺を中心に  
(～2/26迄)

「図書館の絵図展」(2/28～3/25迄)  
「大橋音羽と吾妻健三郎展」  
(3/27～)

## 今後のスケジュール



自動車文庫車「アタゴオル」は、約3,500冊の  
図書を積んで市内約70ヶ所を巡回しています。  
図書館と同じように本の貸出ができますので、ぜひ  
ご利用ください。  
※巡回場所と時間は図書館HPをご覧ください。

### 1月

月	火	水	木	金	土	日
2019 12/30	2019 12/31	1	2	3	4	5
年末年始休館日 12/29(日)～1/3(金)						
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23[休館日]	24	25	26
27	28	29	30	31 休館		

### 2月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	
蔵書点検のため休館 1/31(金)～2/6(木)						
3	4	5	6	7	8	9
蔵書点検のため休館 1/31(金)～2/6(木)						
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27[休館日]	28	29	

### 3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26[休館日]	27	28	29
30	31					

【図書館では、下記のマナーを守ってご利用下さい】※キャップ付飲料は持込可



## \* 蔵書点検に伴う休館日のお知らせ \*

1/31(金)～2/6(木)まで

【蔵書点検とは?】「蔵書」とは、図書館にある資料(本、新聞、雑誌、DVD・CDなど)のこと。「蔵書点検」とは、本の棚おろし、つまり、資料が決められた棚にあるかを調べ、行方不明のものがいないかを点検する作業のことです。

## \* 多読サロン&相談会 \*

英語多読とは、易しい英語の本から始めて、少しずつレベルを上げながら多くの英文を読み、英語を英語のまま理解することで、英語を習得していく方法です。当館では、約1500点の英語多読用資料を用意するとともに、月に1回「ナセBA 英語多読サロン」を開催しています。また、ビギナー向けの「英語多読相談会」も同じく月1回開催しています。

### 第6回ナセBA 英語多読サロン

特別ゲストとして、NPO 多言語多読理事・酒井邦秀先生のご参加が決定しました! 酒井先生は、「英語多読」を最初に提唱された英語教育の専門家です。

・開催日時: 1/26(日) 14:00～16:00 ・会場: ナセBA1階 体験学習室 ・定員: 40名  
申込: カウンターまたはメール・FAX(図書館だより最終ページに記載)でお申込み下さい。

【今後の予定】実施の詳細は今後の図書館ホームページ・館内広報物等でご確認ください。

【ナセBA 英語多読サロン】2/24(祝)、3/28(土)/14:00～15:30  
【ナセBA 英語多読相談会】1/14(火)、2/10(月)、3/11(水)/15:40～17:10

## \* 読書会 \*

第4回のテーマは「2019年、私のこの1冊」です。2019年に読んだ本で感銘を受けた本やおすすしめしたい本(図書館の蔵書でも可)を持ち寄り、本について語り合い、新たな読書の楽しみ方を見つけませんか。

・日時: 1/25(土) 14:00～15:30 ・会場: 図書館 ミーティングルーム ・定員: 20名  
申込: カウンターまたはメール・FAX(図書館だより最終ページ記載)でお申込み下さい。

## \* 先人顕彰コーナー \*

### 「写真で見る米沢のむかし展」

part2: 上杉神社周辺を中心に

会期: ～2/26(水)

会場: ナセBA 中2階 先人顕彰コーナー

昨年好評でした、むかしの平和通り周辺の写真展。今年は上杉神社周辺のむかしの様子を中心に当館収蔵の写真と、米沢市上杉博物館所蔵の小貫幸太郎氏が長年撮りためていた写真から振り返ってみたいと思います。招魂碑の前に観覧車があったこと、覚えていませんか?



← ↓ 河村氏寄贈資料(当館蔵)



## \* 第63回 古文書解読講座を開催します \*

古文書の解読を学ぶと共に、古文書に書かれた情報から地域の歴史を学ぶ伝統のある講座です。

第1回 2/15(土) 10:00～12:00

「置賜地方の近世文書を読む」

講師/山形県立米沢女子短期大学教授 小林文雄氏

第2回 2/15(土) 13:00～16:00

「上杉謙信関係の文書を読む」

講師/米沢市上杉博物館学芸員 阿部哲人氏

第3回 2/22(土) 10:00～16:00

「上杉鷹山関係の文書を読む」

講師/市立米沢図書館郷土資料担当 青木昭博

会場: ナセBA 1F 体験学習室  
定員: 30名 受付開始: 1/16(木) 先着順  
資料代: 1日800円 2日で1,600円  
資料配布: 2/7(金)から図書館で配布



申込: カウンターまたは電話・メール・FAX(図書館だより最終ページに記載)でお申込み下さい。

# ナセBA

市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

## 新着 一般書 おすすめ本

100歳まで読書

タイトル：100歳まで読書「死ぬまで本を読む」知的生活のヒント  
著者：齋藤隆史 出版社：三笠書房 分類：O19

読書はしたいけど文字は読みにくくなるし、集中力も長くはつづかない、時間だって意外とと思うように取れないなど、年をとってそんなふうになっていってしまう方も少なくないのでは？ちょっとした工夫や発想転換で、年を重ねた年りの本の読み方や楽しみ方のヒントを紹介しています。

タイトル：大人の言葉力 カドを立てずに自分を通す  
著者：齋藤 孝 出版社：大和出版 分類：336

怒っても好かれる人、自分を抑えても苦手な人、その違いは言葉力にあるといえます。壁をつくらぬ会話術から、上手な切り返し方まで、日常生活や仕事で人間関係がうまくいくようになる“ちょっとしたモノの言い方話し方”が紹介されています。



タイトル：月の落とし子  
著者：穂波 了 出版社：早川書房 分類：913

有人月探査「オリオン計画」で、月面に降り立った宇宙飛行士が、正体不明の致死性ウィルスに感染!?生き残ったクルーは地球への帰還を懸命に試みるが、ウィルスと共に墜落してしまう。広がるウィルス、人間は人間自身を救い出すことができるのか。超災害ミステリです。



## 新着 児童書 おすすめ本

タイトル：ひとりぼっちのモンスター  
さく：アンナケンプ え：サラ オギルヴィー 出版社：フレーベル館 ぶんるい：えほん黄93

テイブは、おじいちゃんモンスター。わかいころに町の人々においやられ、今はひとりエコーロックというどうくつでくらしている。そこへ、ちいさなきしパーシバルがやってきたことから、テイブのにちじょうにもへんかがおきていくお話です。



タイトル：命のものさし 動物の命・人間の命・わたしの命  
著者：今西乃子 写真：浜田 一男 出版社：合同出版 ぶんるい：子どもの本46

わたしたち人間だけではなく、動物にも命があります。その中には、すてられる命、さつしょうんされる命、食べられる命、動物園にてんじされる命など、さまざまな動物の命の光とかけがあります。ひとりのこうむいん じゅういしの目を通して、命について書かれた感動の作品です。



タイトル：大どろぼうジャム・パン [3] すてねこマリリン  
作：内田 麟太郎 絵：藤本 ともひこ 出版社：文研出版 ぶんるい：よみもの91

とつぜんジャム・パンのたんていじむしょをたずねてきた、白いあごひげをはやしたなそのおじいさん。いらいは、かがくへいきのじょうほうをぬすむこと。いらいをひきうけたジャム・パンは公園でなにものかにおそわれてしまいます。大どろぼうジャム・パンシリーズ第3弾です。



### \* 実施しました \*

読書週間図書館フェア 2019/10/26(金)~11/10(日)

◆10/26(土)朗読ライブ「too much love~やりすぎの愛~」『寿限無』の朗読では、何度も出てくる長〜い子どもの名前にクスッと笑って最後は拍手！他、『怪談牡丹灯籠』や『安珍清姫物語』などソクッとする大人向けのお話を、キーボードとギターの生演奏と共に楽しみいただきました。



朗読ライブの様子

◆10/27(日)ハッピー・ハロウィン！英語のおはなしかい 国際交流員のタイラー・パートンさんをお呼びして英語の絵本の読み聞かせや手遊びを楽しみました。最後は「トリックオアトリート」を合言葉に、折り紙で作ったお菓子をプレゼント。



英語のおはなしかいの様子

◆10/27(日)ワークショップ「本の箱庭〜箱図書館長になろう〜」(作品展示：10/28(月)~11/10(日))各自選んだ本を、装飾した箱に納めて小さな図書館を製作。本好きの皆さんとあって夢中になって楽しんでいただけようです。



ワークショップ「本の箱庭〜箱図書館長になろう〜」展示の様子

その他、例年開催している「バックヤードツアー」、「フィルムコート体験」、「本と雑誌のリサイクル市」、「雑誌の付録抽選会」でも多くの方にご来場、ご応募いただきました。来年のフェアもお楽しみに！

令和元年度 米沢市小中学生読書感想画展

市内小中学校よりご応募いただいた作品(小学校の部421点、中学校の部78点)の中から2019/11/28(木)の審査会において、特選47点、金賞258点、銀賞194点が選ばれました。作品は、ナセBA1階よねざわ市民ギャラリーにて2019/12/11(水)~15(日)の期間展示し、1937名の方にご来場いただきました。



### Q&A 質問箱

皆様から寄せられる質問にお答えします。今回は「貸出履歴(りれき)」です。

- Q. 前に借りた本のタイトルが思い出せないので、教えて下さい。
- A. 図書館では、利用者の皆さんの読書の自由を守るため、プライバシーに関わる貸出履歴は返却の都度、消去されます。お手数ですがあらかじめご自身でお控えください。(米沢市内に住む乳幼児~高校生の皆さんと、米沢の高校に通う高校生の皆さんについては、自分が借りた本の名前を機械で記録する「読書通帳」を無料で発行しています。)また、覚えている内容などを手がかりに本を探すお手伝いをいたしますので、お気軽にカウンターにお尋ねください。

### 貸出ランキング TOP7

[2019.12.7 調べ] ※ランキングは常時変動します。

#### 一般 [文学一般・日本文学]

1. 魔力の胎動 東野圭吾 著
2. 盤上の向日葵 袖月裕子 著
3. 希望の糸 東野圭吾 著
3. むらさきのスカートの女 今村夏子 著
3. 凶犬の眼 袖月裕子 著
3. そして、バトンは渡された 瀬尾まいこ 著
3. 人魚の眠る家 東野圭吾 著

#### 児童 [子どもの本]

1. おしりたんてい トロル 作・絵 カラーなるじけん
1. 地中世界のサバイバル2
1. おしりたんてい トロル 作・絵 プブルインボーダイヤをさがせ!
1. 古代文明のひみつ ドラえもん社会ワールド
1. エネルギー危機のサバイバル2
1. 原子力のサバイバル2
1. 100かいだてのいえ いわいとしお 作

### \* 実施しました \*

第34回 ふるさと歴史講座

- 今年度のふるさと歴史講座は、上杉鷹山の入部 250 年の記念の年にあわせ、上杉鷹山をテーマに開催しました。
- ◆2019/10/8(火) 宮田直樹 氏 (米沢市教育委員会文化課) 「上杉鷹山と細井平洲」
  - ◆2019/10/15(火) 遠藤 英 氏 (九里学園高校教諭) 「鷹山の史跡あれこれ」
  - ◆2019/10/22(火) 青木昭博 (市立米沢図書館主幹) 「笹戸善政著『翹楚篇』に見る上杉鷹山」



宮田直樹 氏



遠藤 英 氏

第30回 古典文学講座

- 今年で第30回目を数える古典文学講座、2019/11/16(土)には石黒志保(当館 郷土資料担当)が、『古今和歌集』と『新古今和歌集』の和歌の読み比べをしながら、その違いについて話をしました。
- 11/23(土)には、岩原真代氏(米沢女子短期大学 国語国文学科准教授)が、『源氏物語』の音楽一女三宮と琴(きん)の琴(こと)をめぐる〜と題して、『源氏物語』若菜にでてくる楽器、琴(きん)の琴(こと)が物語にどのように響いているのか、お話頂きました。
- 11/30(土)は、新宮学氏(山形大学附属博物館館長)が、「伊佐早謙の漢詩集『樵軒稿(しょうけんこう)』を読み解くー沖縄調査時期を中心にー」として、米沢の郷土史家であり、当館第2代館長であった伊佐早が沖縄で詠んだ漢詩についてお話頂きました。



岩原真代 氏



新宮 学 氏